

吾妻山の火山活動解説資料

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

吾妻山で11月11日から観測されている噴気は、本日（14日）は高さ100～200mで経過しており、特段の変化はありません。本日、気象庁機動調査班が福島県警察本部の協力により実施した上空からの観測の結果でも、地表面の状態や温度分布等に異常は認められませんでした。

吾妻山の噴火警戒レベルは1（平常）が継続しています。噴火予報警報事項に変更はありませんが、火口内で噴気、火山ガスの噴出が見られますので、火口内では警戒が必要です。



写真1 ヘリコプターから大穴火口付近を撮影

○噴気の状態

吾妻山の噴気は、11日以降消長はあるものの、100～400mの高さで推移しており、特段の変化は見られません。

○火山の熱の状態

本日、気象庁機動調査班が福島県警察本部の協力により実施したヘリコプターによる上空からの観測では、一切経山周辺に新たな地熱の異常域等は認められませんでした。11日から13日に気象庁機動調査班が行った現地調査の結果でも、大穴火口内の地表面の温度及びその分布に特段の変化は認められませんでした。



写真 2 大穴火口南側から撮影
(噴気孔の直径約 10m)



写真 3 浄土平から大穴火口付近を撮影

○地震・微動活動の状況

火山性地震は少ない状態で推移しています。火山性微動も観測されていません。

○地殻変動の状況

山麓のGPSによる地殻変動観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は観測されていません。



図 1 吾妻山 大穴火口周辺の地形図